

(法第10条第1項第7号)

平成28年度の事業計画書

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

1 事業実施の方針

①の事業では、犬猫合計1,500頭以上を引き取り保護することを目標とする。これを実現するため、前年度の課題であった飼育管理能力を向上させるため、組織の改変を実施する。また、施設を増改築してより効率的で衛生的な飼育管理を行う。

②の事業では、犬猫1,500頭以上を新しい飼い主に譲渡することを目標とする。なお、飼育管理能力の指標として、譲渡までの犬の滞在日数40日以下、死亡率10%以下、猫の滞在日数45日以下、死亡率20%以下を目標とする。

③の事業では、犬や猫の適切な飼い方のコンテンツを刷新し、より多くの方により良い情報を届けることを目標とする。

④の事業では、①で保護した動物のほか、100件の外来不妊手術実施を目標とする。

⑤の事業では、全事業のコンテンツを見直し、より良い情報発信を目標とする。

その他事業においては、単に収益をあげるのではなく、事業を通して動物を取り巻く社会環境に対する知見を得ることを目的とする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
①行政施設で殺処分される犬猫を引き取り保護・飼育する施設(アニマルシェルター)を運営する事業	保健所や愛護センターなどの行政施設で殺処分直前の犬猫を施設に保護して、譲渡のための健康管理やしつけ等を行う。 また、譲渡が困難な犬猫については、施設で生涯飼育する。	随時	法人事務所	11名	千葉県、茨城県、福井県、静岡県、山梨県、船橋市、柏市、千葉市の8自治体。
②行政施設から引き取った犬猫に不妊手術を施し、新しい飼育者へ譲渡する事業	前記事業で保護した犬猫たちに不妊手術を施し、新しい飼い主に譲渡する。	随時	全国	8名	・犬猫の飼育を希望する不特定多数

③幼齢避妊去勢手術の普及と犬猫の適正な飼育を啓発する事業	団体ホームページで幼齢不妊手術についての情報提供や啓発を行う。	随時	法人事務所	1名	不特定多数
④幼齢避妊去勢手術を主たる目的とした動物病院事業	団体が保護中の犬猫の不妊手術および、保護団体や個人が保護する犬猫を対象に、幼齢不妊手術外来を提供する動物病院を運営する。	随時	法人事務所附属の動物病院	5名	・犬猫を保護する団体や個人。 ・100件の外来不妊手術実施を目標とする。
⑤この法人の特定非営利活動に係る事業に関する情報提供・サービス事業	主にインターネットを通じて、前記事業すべてに対する情報発信を行う。	随時	法人事務所	2名	不特定多数

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数
損害保険代理業	ペット保険の代理店事業を通して、動物に関わる社会環境の変化の知見を得る。また事業の収益基盤を強化する。 ただし、本年度は事前調査と試行のみを行う。	随時	法人事務所	1名

以上

2016年5月21日

NPO 法人犬と猫のためのライフポート
2016年度 事業計画

<この事業計画書について>

行政機関からの指導もあり、本年度から事業計画書を定型に準じるものとなりました。
しかし、そのみでは皆様にお届けするメッセージとして不十分なため、参考資料として本事業計画書を併載いたします。

<犬と猫の保護と譲渡について>

本年度も犬猫合計 1500 頭の譲渡を目標とします。
なお、飼育管理能力の指標として、譲渡までの犬の滞在日数 40 日以下、死亡率 10%以下、猫の滞在日数 45 日以下、死亡率 20%以下を目標とします。

事業報告のとおり 2014・2015 年度は当団体の活動の柱である救命数を大きく減らしてしまいました。大きな原因の一つは資金難による人員不足でしたが、その後多くの方のご支援により、状況が改善したため一日も早く救命数を回復したい考えです。

なお、目標を実現するために、単に人員を元に戻し、これまでと同じ活動をしただけでは不十分と考え、同じ人員でより良い活動を行えるよう、現場組織の改変を実施します。

<現場組織の改変について>

現在の当団体の現場には大きく分けて、「犬の飼育管理」「猫の飼育管理」「事務・総務」の3部門がありますが、これらを全て統合してフラットな現場組織を作ります。

活動初期には明確な部門分けはなく「全員が出来ることを全部やる」という精神で関わり、それが活動の原動力になっていました。

しかし、恐らく多くの組織と同じように、活動が認知され、法人化もして、組織化していく中で部門化が進んでいきました。もちろん、特定の業務に特化して集中できるというメリットもあったのですが、一方では活動の全体像を見られる人材育成の障害にもなっていました。

そこで、単に以前のスタイルに戻すのではなく、現状を組織がステップアップするために乗り越えなければいけない壁であると捉え、仕組みで当時以上の機能を持たせることができるよう、今回の改編を実施します。

<幹事職員の募集について>

現場組織の改変と平行して、団体の経営や新規事業に専属的に携わってもらふ幹事職員の募集を開始します。

これまで当団体では現場生え抜きで幹事職員へのステップアップを行ってきました。今後も見所のある現場職員を登用することは変わりませんが、新規事業を開拓するにあたって、これまでの団体内の常識にとらわれず、また専門性を持った人材を加えることで活動を前に進めたい考えです。

<施設の増改築と環境改善について>

おかげさまで資金状況が改善し、当団体の活動規模からすれば高額な留保金が発生しました。例年の資金繰りを考えれば十分な金額というわけではありませんが、これを間違いなく救命や将来の活動につなげるため、施設の増改築と環境改善を実施します。

完了すれば動物たちの物理的な収容能力を 1.5 倍ほどに増やせる見込みです。

<成犬・成猫の譲渡促進について>

前年度に引き続き、施設で大きくなってしまった子たちを譲渡して幸せになってもらうための試行錯誤を続けていきます。

一般的に犬も猫も、大人の動物は広いスペースで触れ合いながら見ていただいたほうが、里親さんにご縁を感じていただきやすい傾向があります。前記の増改築でこうしたこともしやすくなる見込みです。

また、自宅預かりボランティアやトレーナーによるしつけなど、未実施の対策も進めていきたい考えです。

<外来不妊手術について>

例年並みの年間 100 件の外来不妊手術実施を目標とします。

以前と違い、ノラ猫や地域猫の不妊手術を受けてくださる動物病院も増えているようですが、当団体への外来希望が減る様子はありません。

これは、つまり、根本的な解決ができていないということなので、喜べる状況ではないのですが、少しでも個人の活動家の力になるべく本年度も継続して実施いたします。

<コンテンツの充実について>

当団体では、飼い主が幸せに、未永く動物と暮らすことを助けるため、犬猫の飼育やしつけのコンテンツをウェブで公開したり、里親様に冊子でお渡ししたりしています。

このコンテンツも初版から9年目になり、内容が古くなっているため一新し、より良い情報を提供したい考えです。

<ペット保険代理業について>

本事業は、NPO 法人がその活動資金を確保するための「その他事業（収益事業）」に分類していますが、単に手数料収益を得るのではなく、この事業を通して飼い主さんの求めるものを知ったり、保険料と手当のバランスや保険営業の手腕に触れたりして、団体として知見を得ることを主目的として実施します。

以上が2016年度の事業計画です。

特に組織改編は、救命活動を回復させるためだけでなく、今後ライフポートがステップアップするために必須のことと考えています。

良い結果を出せるように進めて参りますので、皆様のご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

NPO 法人犬と猫のためのライフポート
理事長 稲葉友治